

まえがき

この本は、毎週切り口を変えてお伝えしている子育てについてのメルマガを、読者の皆さまが好きなときに好きな部分だけ読み返しができるようにという思いで、1冊にまとめたものです。

さらに今回は特別に、この本にしか書いていないことを第4章に加えました。

私がお伝えしたい子育てはいつも変わらず1つですが、それをどんな側面から、どんな言葉を使って、どのようにお伝えするかを考えることは、とても大切なことだと思っています。

何がどのように心に響くかは人それぞれですし、同じ人でもそのときに置かれた状況や心境で受けとめ方が変わってくるからです。

ですから、思い立ったときに気軽に目を通せるこの1冊が、皆さまのお役に立てれば幸いです。

この本は、じっくりと時間をかけて読むタイプものではありません。

多忙な毎日を送る皆さまが、気が向いたときに好きな部分だけちらりと見る程度でOKなのです。たまたま開いたページが、飛び込んできたメッセージがあなたの気持ちを和らげ、時には励ましになれば、それが私の本望です。

子育てを終えたママたちが言うことは同じです。

現役ママさんたちの毎日必死に子育てをしている姿を見て、「大丈夫だよ。必ずうまくいくから。心配はいらないよ」と、口をそろえておっしゃいます。

「私もかつてはおんなじ状況だった。だからよくわかる。大丈夫だと言われるとかえって反抗したくなるし、大丈夫ならこんなに悩んでいないものね。でも、だからこそあえて言いたい。それでも大丈夫なんだと」

この言葉にはとても重みがあります。オギャーと生まれてから成人するまで、ずっと子どもに寄り添い見守り続けてきたお母さんだから言えるのですよね。

今この本を手にとってくださっているあなたは、子育ての真っ最中かもしれません。

これでいいのかと迷い、悩みながらの毎日かもしれません。

子育てに正解はないとも言われますが、本当にその通りだと思います。育児書の通りにいかないわが子、期待通りにいかないわが子。だからこそ迷いや悩みが出てくるのですよね。

正解がないということは、そのときそのときにあなたが最善だと思ったように接してあげることが、つまり最善だということなのです。理想のママ像を追い求めても、なかなか近づけない気がしていても大丈夫です。あなたの求める母親像と子どもが必要としている母親像は異なる場合がほとんどです。ご自身で気づいていないあなたの良さが、お子さんにとって大好きなママの姿です。

ここに書かれているメッセージを通して、それらのことに気づき
感じていただければ幸いです。